

『もりおかの短歌』春の部

一般部門 優秀賞十首

枝垂れ咲く

しだ

さ

かお

花よりもなお香りたつ

はな

よない

みずべ

君つれあゆむ米内の水辺

盛岡市 赤坂 昌信

教へたる啄木カルタを

おし

たくぼく

こえたか

まご

声高く孫らはとりぬ

じっさい

こ

十歳の子も

盛岡市 石川 修子

桜散り若葉に移る

さくらち

わかば

うつ

こずかた

しろ

おも

不來方のお城で思う

き

かた

わが来し方を

埼玉県川越市 内田 定一

啄木の歌口ずさみはるばると
たくぼく うたくち

娘と初めての
こ はじ

岩手山見る
いわてさんみ

大阪府門真市 川上 なみ子

酒蔵の向かひにありし祖母の家
さかぐら む そぼ いへ

たづね鉈屋町に
なたやちやう

春の水湧く
はる みづわ

青森県八戸市 木立 徹

盛岡に
もりおか

十九の春に来てからは
じゅうく はる き

石割桜咲く頃嬉し
いしわりざくらさ ころうれ

盛岡市 小林 貴史

啄木の十五の心
たくぼく じゅうご こころ

知りたくて
し

不来方に来て空を仰げり
こずかた き そら あお

岡山県岡山市 才本 有香

ふるさとを

たびた こら がっしょう

旅立つ子等の合唱に

ひめかみさん りょうせん

姫神山の稜線やさし

秋田県大仙市

鈴木

仁

わか ひ つま

若き日に妻とあるいた

しろ

城あとは

みどり ひ

緑の日ざしいまも変わらず

岩手県花巻市

藤原

道正

もりおか

盛岡に

ひとりく まご

一人暮らせる孫娘のみて

がんば すがた ひ びはげ

頑張る姿に日日励まされゐる

千葉県四街道市

松浦

恵美子

ジュニア部門 優秀賞三首

該当なし

【講評】

多くの方々から心のこもった作品を応募していただき大変嬉しく思います。啄木のふるさと『もりおかの短歌』にふさわしい歌ばかりでした。あらためて、短歌という詩型の素晴らしさについて考えさせられました。

平成三十年 六月選

投稿数 百二十四首

選者 山本 豊氏